清水道中金時草鞋 壹

吾遠出
1346
1

門へ 13
號 1346
巻 1

金草鞋

一東都見物尾書 三人

シテ男 あいの紋付の布子柳ぢりを せなひまくてゝぶひ帯ぐるく

アド僧 ちんのかれんたろ〳〵これも ゝぶひの帯うぞく出たち

案内者 いせじ家の布子 ちんのかゝひき出たち

ぢくろ町 武甲目 錦木林堂上梓

文化癸酉孟春日

十返舍一九志 (貞)

初編 合一冊

十返舍一九 戯著

諸國道中の女の子鞋

浪華書肆 嵩山堂梓

遠
1346
1—24

ござろうそれへゆうーまると ▲アド 刃ごりのたてのものでござるがおろうど
ござ物ふれ出てござる ▲シテ おとといろ
いろそふ ▲アト一服ようござろう 財木久右衛門
まんのものでござるがこのらびうとも
▲シテ さてく 当おうふさちくろう
ちかうござの能そるくやまをかのでござる ▲アト くるといいるてくそると
もらられのおいくじやさそも
よのろうをとうめて
でござろうんとかやうよで
ござろう ▲シテ 仰くめされく

▲アド 自詰

ゑびさまあくはん当番
べんくようござろうもかひ
くう変がたくめてのくらひ

▲シテこれいくんとよふござるえびか

自詰

かやうよやまーと
ゑさまあとやくそう出まてきせちん
まだーしぞまる

▲シテ さあくいかーまを

あうそうのろうこれ小山ぬの
ちろくろうのふろうつはこもそろくろうよみ
そろりるやくそやて
ゆくろうの元せんまうの
ふぐろまろっ出てあろうのそでどひつそく
あやうくひろえうれをちくがう
そくせきふろーもの
きまうろをくち
をさろろ

狂 ゑびくの名ア
千住ろりん
まろ
かろよ 鮫さあ
当てひとつろう
「このとろうろう
をろうろうのよいきふりざ
ござをくまくそうてはさろうをまろをぐみ
むろろそうてはさろうる
「ろうちうさろろいむろろてう二すめさ
おろのおとのおやじそろろ
くろいうーみをぬこれくおもも
いとーてろりまをう

そのぶん
みやア
わーん十七ぞ
みかつりを
七八七ろて
くやア
わろふ
あんくも
いり
ゆさろ

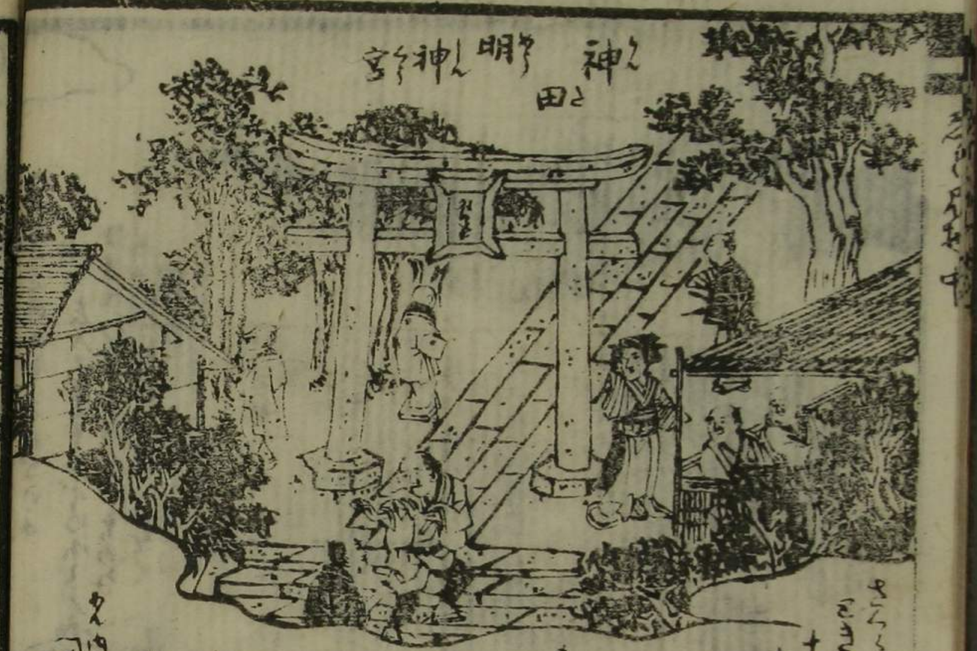
日本橋魚市
ふきやてうう
おやぢだと
ほうて
しの
かしぞとう
とはわんだし
へさしかう
とのあうのさう
る市とみせてうの
あんないのおとと
なんとみるせくさく
あもおぶりてう志んだの
さうる市をうみがこのかのう
みせさようふごくきりの
佐ふれこくこかいひ
やもがこのさうるが今の
まはうるうれまうて
志ずいやとれなんと
ごうせくなかのゞやアどうう
やせんうそこゆあるふいとみる
せく目の志ぶ云しゆくだうも
おとうこんるふいさく志ぶよ
うれて志ずいやさとしいるだのびさう
注
おやうるそんなア鯛が
うまうるうそのこ
ううがりうひうんしく

芝神明宮

愛宕山

虎之御門

ト
ハバシゴモン



一美波楽國府 [illegible]入 [illegible]詰 一後生州 日
一[illegible] 日 [illegible]
[illegible]
[illegible]
作[illegible]
[illegible]

かん男のこやうんのうらりんようおて
ひぐうのろこ
はなごひざら
とのろうてまろ
をぐらやーあの
てんぎえへさえけい
もろこのこころも
市中いちめんよ
えよろろー
まそぶ川
を向うよ
ろぐろて
いらんうとる〜
(後)
ざいとん
寛ろ渕
とあげぬへ
けさろーしあ
ひざろかの
まやろうくいまろ
やぐあろの
えぐろのが

時平
(狂)
おこごあろ
せざあろも
ろろうろの
ろろろあ
ゆーなの
変人へんぐ
あの人くろうに
いるろうのご
ろえぶぶりろれ
あぐもぞろ
さねろうまけうけをんろうろそてけろる

東叡山
大師の出まへにて
さけに
ちやがまをあ
ぶちやーや
湯のよろこひ
大師さまより
笑止さまぶ
「このぶう
もくりめ
ぶち
ころもぞ
「まんぐ
ふちとろ
もころさ
れぐい今
のむを
めれこう
いゝ田
といろ
めでこん
ろをゆん
がきいて
あきれう
ア
「そて
ながい
あきれ
ゆうぐ

「コリヤ
「コレく
さけの
よいぐ
かんしな
せく

待乳山聖天

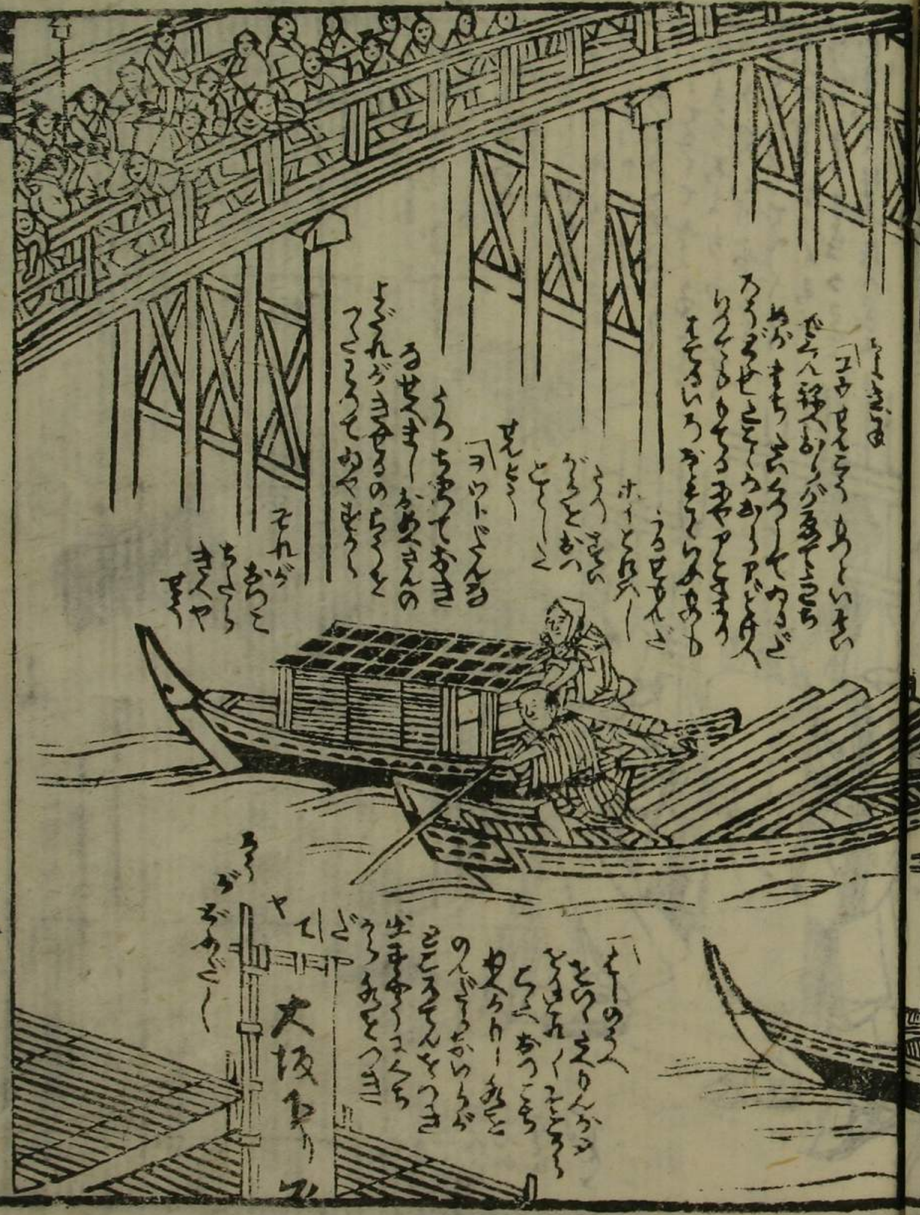
月麿画

十返舎一九戯著

金草鞋初編終

八巻中鄙言方語之解

馬喰町



西國橋
大坂

福
八幡太郎

羅漢寺

向嶋武蔵屋

白ヒゲ明神

木母寺

「さあ〳〵おいぞこ〳〵

講中

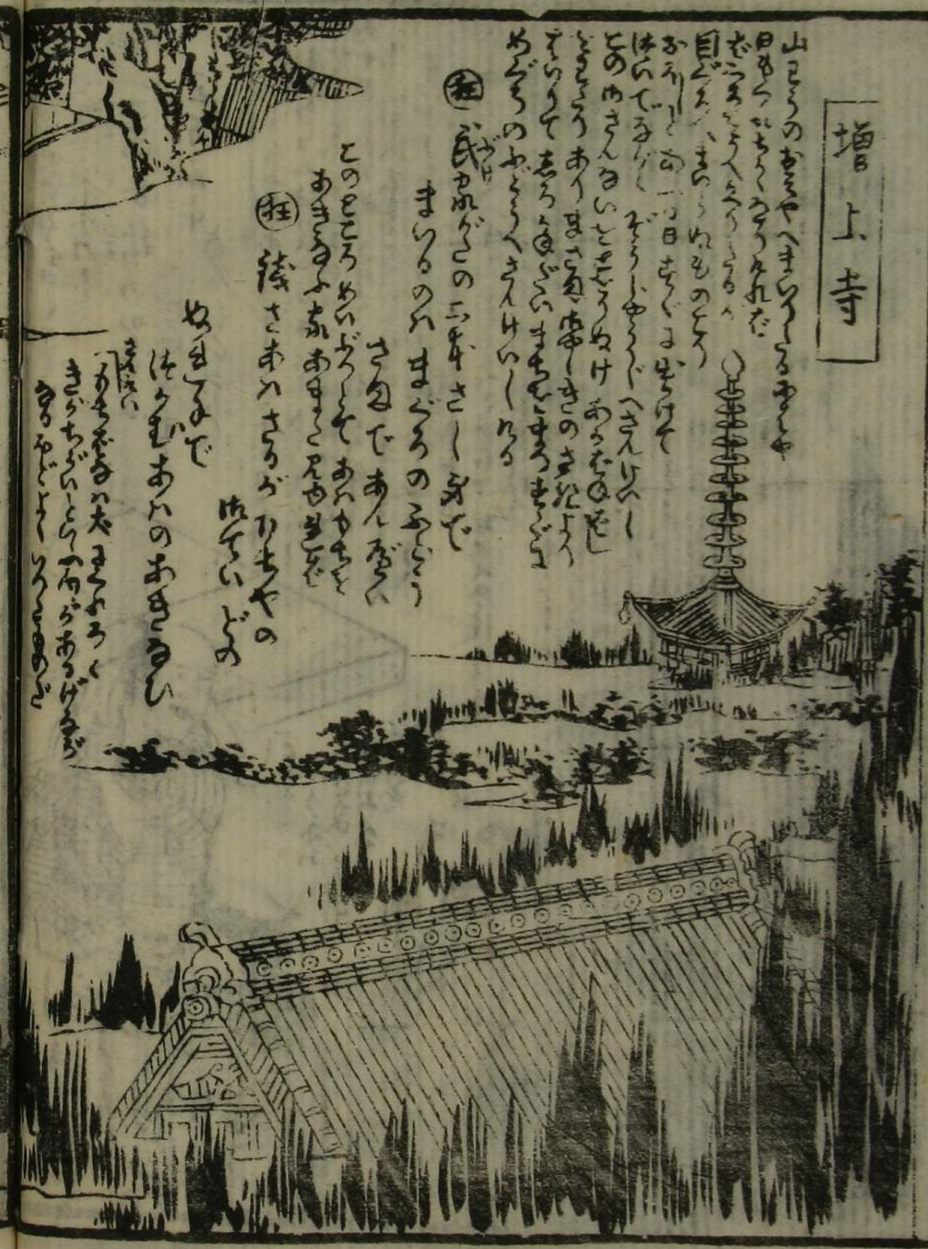
御休所
大當叶

山王

「まてまて
そのおん
どうどこへいう
しれこうう
ぢやう
えんでうの
やぐうめいかの
ところてう
どうでうの
ゑいぐうてうじ
そでござるの
できぬてうら
そこれおれもぢ
うんとでうさも
まやうぢやどうう
まをぬうのよ
大ぢうもの
がてんう〳〵

けらこうのさだうるくさんせの
ごとふうまいハーうれた
山王のお祭のやうそう
二万二千
さんげいの人
「さてくんちもあるき年ことかみお日さま
がおいるさうこうことのおこうきうでうう
やせうくまぐあごろのさどうふあのとそて
おやさまでおれあるこのとうふるさうや
ろうこれふまままをべいをやアまんうこうア
ろんぶアてくださやうあるめとやふさあく
ろうぐんでろのうとまれてきやう
ゑ月へおうくづまんのとうえそやアおやくのはかう
ちう「ちんよこまやアろえぶとこうよおうやう
このろうぐんぶてろうくのとうやそふとさあ
ぐうれやうこがみーやようくかのさあとまわる
ふとぐうくこのそうへぐろのうるうぐだ
かぶうまをるかおろくうこうとれんぐうく
ノいやうとがあるぐあくゑへうとれ
やうう
△酉年ごんちくぶうのひざうを
大夜云林ようう出ーやん絵
ううそはお求あきの松ん一のうる
二百二作者の口上
さやう

増上寺



5年1月

月麿画
馬喰町二丁目
錦木林堂